

まめなかの

発行責任者
隠岐広域連立
隠岐病院長
西郷町城北町 355



隠岐の老人は

骨が強い!

手術の成績、

良好ですよ



整形外科部長 西口 薫

昨年の十一月に隠岐病院へ赴任して以来、隠岐の外来患者様の多さに目をみはりました。皆様には長い長い待ち時間を強いており、大変申し訳なく思っています。島後一万八千人の中に二人の整形外科医で診療にあたっておりましたので、ご理解くだされば幸いです。

この十月から研修医が一人加わり三人体制の診療がとれるため、今後は待ち時間を減らすことができるようになると思えます。同時に二人では大変だった手術も、三人なら汗をかく量も少なくなるだろうと期待しています。ところで、この一年間を振り

返ってみて思うことを少し。老人に多い骨折に、大腿骨頸部骨折が

あります。前任地の松江でも、その前の関西でも、複雑に粉碎した頸部骨折が非常に多かったように思います。複雑な骨折は予後が悪く、残念ながら寝たきりに近い状態になった患者様も多かったです。

ところが隠岐では皆様単純な骨折ばかり、元に戻るのが簡単で手術後の経過も良好な方が多いようです。やはり食事や運動量の違いなのでしょう。それとも遺伝子レベルの違いなのでしょう。か?

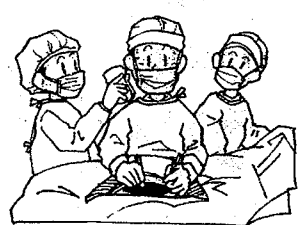
“隠岐の老人は骨が強い”これは間違いないようです。



それからもうひとつ“この手術は隠岐病院でできますか?”との質問の多さ。ちよつと悲しい。もちろん高度の専門性を要する治療においては大学をはじめとする高次の医療機関へ紹

介することもありますが、皆さんが受けておられる殆どの手術は当院でも可能です。

美しく蒼き夏が終わり、自然の恵みが一度にあふれ出す秋を迎え、ズボンのベルトの穴が二つも違ってきたこの腹をなんとかしなければ...と思っております。



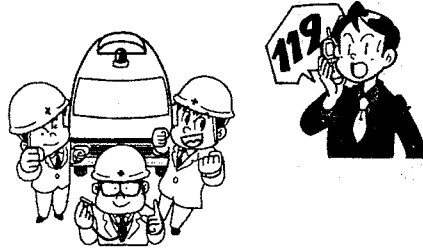
保険証提示のお願い

保険医療機関では、「健康保険証」の定期的な確認が義務付けられています。毎月最初の受診日に受付窓口へ提出されますようお願いいたします。また、保険証に変更等がございましたらその旨お申し出下さい。



救命の連鎖 (救命の四つの輪)

去る、九月九日は「救急の日」また、七日十三日は救急医療週間でした。日頃救急医療の現場でご活躍されている救急救命士の驚野(さぎの)氏より大切な命を救うために必要な行動を迅速に途切れることなく行う重要性(救命の連鎖)について記事をいただきますのでご紹介いたします。



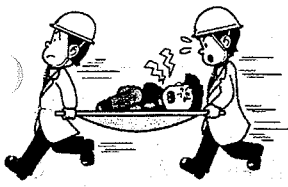
一般の医療は傷病者が医療機関を訪れたときから始まりすが、救急医療は病院前救護から始まりま。緊急度が高ければ高いほど、医療機関へ到着するまでの処置が傷病者の予後を決定付ける因子となり、心肺機能停止状態はその最たる例です。救急隊員が現場から現場到着までに要する時間の全国平均は約六分、隠岐では約九分ですが、これは心肺機能停止状態によって脳が回復不可能な障害を受けるのに十分な時間です。突然の心停止により、最初に

生じる病態は意識障害です。心停止後一〇秒で脳内にある酸素は消費されてしまい、三〇五分で脳細胞が活動するための栄養素が枯渇して脳細胞の不可逆的障害が始まります。そして一〇分以上経過すると心拍が再開しても永久的な神経障害を残す可能性が非常に高くなります。したがって、心肺機能停止状態の傷病者の救命率や機能回復の向上を図るためには、まずその場に居合わせた者(バイスタンダー)が重要な役割を負うこととなります。すなわちバイスタン

ダーは直ちに心肺蘇生法を開始するとともに一九番へ通報する。通報を受けた消防指令室は、救急隊に出動命令を下すとともに、通報者に対して直ちに心肺蘇生法などの指導を行う。現場に到着した救急隊員は、心肺蘇生法を引き継ぎ、傷病者を素早く観察して、必要な応急処置を行う。



特定行為(心肺機能停止状態の傷病者に対して行う心臓に対する電氣的刺激、病院到着後すぐ薬剤の投与を行うための点滴、食道閉鎖式のチューブを挿入しての気道確保等)が必要と判断したときには救急救命士は、医療機関に連絡し医師の指示を求め、医師の指示に従って、特定行為を含めた救急救命処置を行いながら傷病者を医療機関に搬送する。



医療機関に到着した後は、医師が傷病者の治療を引き継ぐ。このバイスタンダー←救急隊←医療機関への一連の流れが円滑に進んだとき、傷病者の救命が初めて可能になります。この流れは、あたかも一連の鎖と同じで、どの輪が切れても救命はおぼつかなくなることから、「救命の連鎖」と呼ばれます。とくに、①早期の通報、②バイスタンダーによる迅速な心肺蘇生、③迅速な除細動、④二次救命処置のチェーンが重視されています。心肺機能停止状態に限らず、救急医療では市民・救急隊・医療従事者がそれぞれの役割を果たし、それらが一つの機能として結びついていることが大切です。

隠岐広域連立消防本部
救急救命士 鷲野鉄也



外科発

乳腺外来開設

外科外来では、予約診療の一環として10月から乳腺外来を行っております。

診療日時 毎週月曜日16時～17時
(お一人様30分を確保しております)

対象となる方

- ・乳房にしこりを自覚している方で、今回初めて当院を受診される方
- ・授乳中でもないのに乳頭（乳首）から異常な分泌物があり、今回初めて当院を受診される方
- ・その他、乳房に何か症状があり乳癌など乳腺の病気が心配な方

★ご注意！

※上記のような症状の無い方については検診での対応となります。

予約方法

予約は、ご希望の日の前の週金曜日まで受け付けておりますので、外科外来（2-1356 内線103）へ14時～17時の間にお電話ください。なお、ご希望の日に空きが無い場合、他の週にお願いする事もあります。

今までどおり通常の外来でも乳腺の診療は行っておりますので、月曜日の午後は都合が悪い方、早急に診察希望で月曜まで待てない方などは通常の外科外来（月～金曜の11時まで受付）へおいでください。





インフルエンザ ワクチン接種について



当院では、下記日程にて「一般用インフルエンザワクチンの接種」を行います。

☆11月の予定

毎週火曜日（4・11・18・25）
金曜日（7・14・21・28）

☆12月の予定

毎週火曜日（2・9・16）
金曜日（5・12・19）

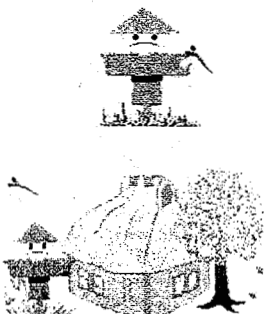
☆接種時間 14:00～15:00 内科外来にて

**☆接種料金 1,000円（西郷町・都万村の65歳以上の方）
4,900円（上記以外の方）**

—接種についての注意事項—

- ①一般の場合、1回接種となります。
- ②予約当日内科外来へお越しください。
- ③お問い合わせは・・・医事課（内線172番まで）

**接種をご希望の方はお電話でも受付
いたします。（12月末まで）
（受付時間 PM2～5時）**



▼調べものをしている時は、イン
ターネットに頼ることが圧倒的
に多くなりまして、非常に便利
なツールとして、普及している
と実感します。辞書代わり、ガ
イドブック代わり、ホテル予約も
しどろどろです。ホテルの予約も
とれたりします。▼病院内の診察
予約はとれます。当院もホ
ムページを公開しております。S
の是非ご利用ください。

◆◆◆◆◆
あてがき
◆◆◆◆◆

異動
採用（十一月まで）
*喜井 竜太（整形外科医員）
*藤野としえ（仁万の里）
*玉木 則子（広域事務局）
異動（十月まで）